

新エネルギー調査特別委員会 進め方イメージ(案)

	回数	時期	取組内容	手法	調査の内容
Ⅰ 現状把握	第1回	6月1日	年間計画策定	委員間討議	調査・検討の進め方について委員間で合意
	第2回	6月下旬	現状把握	参考人招致	有識者等から国の今後のエネルギー政策に向けた動きや世界の動向について聴き取り、効果的な施策について把握する。
	第3回	7月中旬	現状把握	当局から説明聴取	県内新エネルギー等の事情、エネルギー関連計画やエネルギー関連施策の現状を把握する。
	第4回	7月中旬～8月上旬	現状把握	参考人招致 県内調査	エネルギー関連企業等からCO2排出軽減のための取り組みなどについて聴き取りを行う。新エネルギー等について県内の先進的な取組を調査し、現場の状況を把握する。
		9月中旬	現状把握	県外調査	新エネルギー等について県外の先進的な取組を調査し、現場の状況を把握する。
Ⅱ 論点整理		10月上旬	現状把握 論点整理	当局から説明聴取 委員間討議	エネルギー関連計画の見直し状況の把握課題を抽出し、今後、低炭素社会の実現に向けた議論を深める課題を選択する。
		11月上旬	論点議論	委員間討議	課題に対してどのように対応すべきなのか、施策にどのように反映させていくのか議論する。
Ⅲ まとめ		12月上旬	結果まとめ	委員間討議	議論の結果をとりまとめ、提言等の骨子を検討する。
		12月下旬		執行部に対する提言等	新エネルギー等の対策に関する提言